

コラボレーション 始めました！

こんにちは！ NST委員会です。
すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、NST委員会では他の委員とも相互協力をするための計画が立ちあげられました。

現在、感染委員会と褥瘡対策委員会にNST委員が参加しております。

栄養は、我々の生活において元気の源です。当院においても患者さまに対し、より良い対応と対策を行っていきたいと思います。

NST 通信

2009年8月31日発行
第008号

栄養のお話 ①免疫栄養 (Immunonutrition : いむのにゅーとりしょん) について

食事には色んな効果があります。それは昔から知られていた事で、“医食同源”という言葉は皆さんもよく耳にするとおもいます。

特に現在は健康志向が強いので、身体に色んな効果をもたらすレシピや、健康補助食品としてのサプリメントがもてはやされています。

もちろん、健康な時だけでなく、何らかの健康問題を持っている患者様を対象とした病院での、栄養の取り組みも、そのところを考えています。

今回のお話は、その数ある効果の中の一つ。最近注目されていて、その効果を最も期待されるものの一つが、Immunonutritionなのです！

これはImmune(いむん：免疫)とnutrition(にゅーとりしょん : 栄養)の造語です。免疫能を高める作用をもった栄養素をを投与して、その人の免疫系を賦活化(ふかつか)しようという試みと定義することができます。

その成分にはいくつかあり、代表的なものは アルギニン、グルタミン、n-3系不飽和脂肪酸、核酸があります。その他 ポリフェノールや抗酸化ビタミンなどもあげられますが、主に免疫栄養を効果としてうたっている商品には、先の代表格が含まれています。

しかし、免疫栄養はまだまだ研究開発が必要なもので、期待する結果が万人にもたらされるかといえ、そうではありません。効果について研究した中には、重症患者においては死亡率を上昇させるといった報告をしているものまであります。

原因の一つとして考えられているのが アルギニン です。

アルギニンは、免疫反応の活性化、細胞増殖促進作用があります。反面、炎症反応を促進させてしまい、せっかくの栄養エネルギーが炎症に持っていかれてしまうといった困った作用もあるのです。そのため、使いどころに注意が必要な成分です。

いずれにせよ、その知識を持って患者を診ながらの対処が必要ですので、興味を持ちましたら、いつでもNST委員会にお声をかけてください。

ちょっとCM~♪

栄養機能食品「オキシバ」

- ★ 1ml : 1.5kcalのリキッドタイプ
- ★ 炎症の調節を目的とした食品！
- ★ 抗酸化ビタミン配合
- ★ 呼吸商が低い
＝呼吸に負担が少ない脂質を優位に配合
- ★ アルギニンを強化してないので、
炎症反応が強いときに摂取！
- ★ 炎症が落ち着いたら、他の食品に切り替える必要があります。



NST委員会では、いつでも回診の依頼をお受けします。
その際は、栄養科を窓口に申し込みしてください。

次回もお楽しみに♪
NST広報小委員会